

仕訳BIEX

運用マニュアル

第1版

改定履歴

日付	内容	版数
2009/5/18	初版作成	1.0

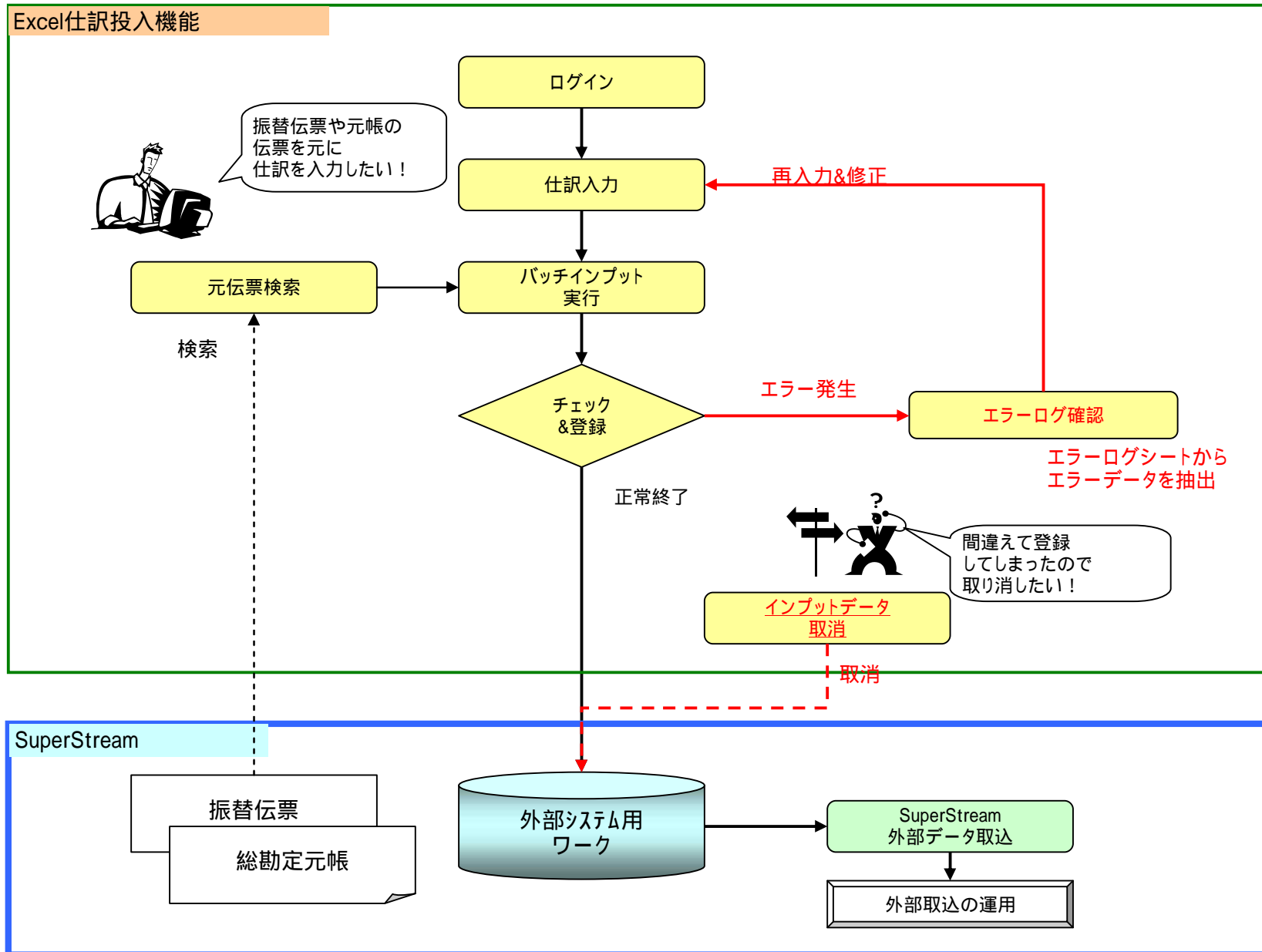
目次

1. 処理概要		
1.1 処理の流れ	P4
1.2 プログラム環境構成	P5
1.3 仕訳入力画面構成	P6
2. 操作方法(仕訳入力)		
2.1 ログイン方法	P10
2.2 仕訳入力方法	P11
2.3 バッチインプット方法	P12
2.4 エラーデータの検索方法	P13
2.5 バッチインプットデータの取消方法	P14
2.6 元伝票呼び出し方法	P15
3. 設定の変更方法		
3.1 設定ファイル内の変更方法	P16
3.2 パラメータマスタの変更方法	【管理者のみ】	P17
3.3 クライアントマスタの変更方法	【管理者のみ】	P18
4. 各種確認方法		
4.1 ログイン・バージョンの確認方法	P19
5. 制限事項		
5.1 入力シートの制限事項	P20
6. エラーが起きたら		
6.1 エラーが起きた時の対処方法	P21

1.1 処理の流れ

仕訳BIEXの機能及び処理の流れは以下のようになっています。

また、仕訳BIEXで投入した仕訳データは、SuperStreamの外部データ取込機能によって、SuperStreamへ取込まれます。



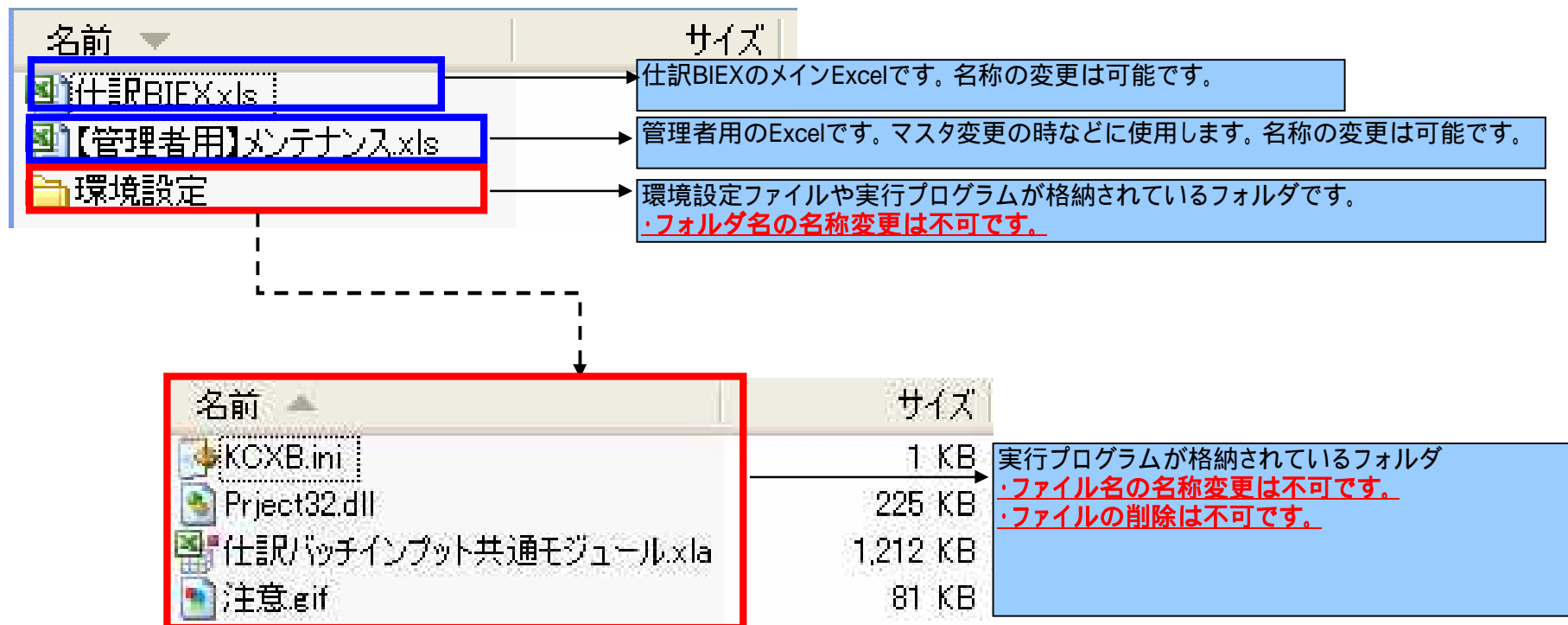
1.2 プログラム環境構成

プログラムの環境構成は以下の通りとなります。

【動作前提条件】

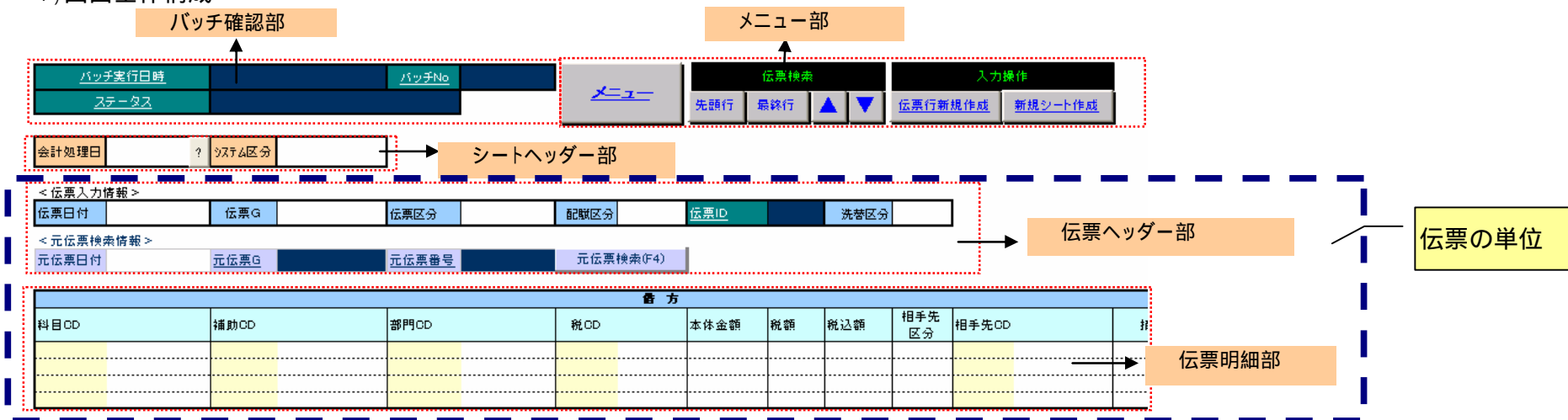
Excel仕訳と同じ階層に、必ず『環境設定』フォルダが配置されている必要があります。

『環境設定』フォルダが存在しないと、Excel仕訳を開いたときに実行プログラムが読込めないエラーが発生します。



1.3 仕訳入力画面構成

1) 画面全体構成



2) 各部の説明

【備考】 ...[F4キー]で参照ウィンドウ表示

バッチ確認部

バッチ実行日時	バッチNo
ステータス	

項目名	入/出	説明
バッチ実行日時	出力	バッチを実行した日時が表示されます。
バッチNO	出力	バッチを実行した時の、バッチNOが表示されます。1シート単位で採番されます。
ステータス	出力	バッチを実行した時のステータスが表示されます。


メニュー部

メニュー	伝票検索	入力操作
	先頭行 最終行 ▲ ▼	伝票行新規作成 新規シート作成

項目名	説明
メニュー	各種メニュー画面が表示されます。
伝票検索	
先頭行、最終行	Excelシートの先頭行又は最終行を検索します。
	伝票ヘッダー部の「伝票日付」を元に、上方又は下方検索を行います。
入力操作	
伝票行新規作成	新規の伝票行を作成します。作成対象は、伝票ヘッダー部と伝票明細部です。
新規シート作成	新規のシートを作成します。

シートヘッダー部

シートヘッダー部は、1シート上に1行のみの設定になります。

会計処理日	?	システム区分	
-------	---	--------	---

項目名	入/出	説明
会計処理日	入(必須)	会計処理日(SuperStreamログイン時の[処理日]と同様)を入力します。初期値は現在日付 [?]を押すとカレンダーが表示されます。
システム区分	入(必須)	システム区分を入力します。「F4キー」で参照ウィンドウが表示されます。

伝票ヘッダー部

伝票ヘッダー部は、伝票毎に必要な設定になります。

< 伝票入力情報 >

伝票日付	伝票G	伝票区分	配賦区分	伝票ID	洗替区分
------	-----	------	------	------	------

< 元伝票検索情報 >

元伝票日付	元伝票G	元伝票番号	元伝票検索(F4)
-------	------	-------	-----------

項目名	入/出	説明
< 伝票入力情報 >		
伝票日付	入(必須)	仕訳の伝票日付を入力します。
伝票G	入(必須)	仕訳の伝票発番グループコードを入力します。
伝票区分	入(必須)	0: 通常伝票 1: 年次決算仕訳伝票 中間決算仕訳伝票 9か月決算仕訳伝票 2: 四半期決算仕訳伝票
配賦区分	入(必須)	0: 一般伝票 1: 配賦伝票
伝票ID	出力	バッチインプットを実行した時に、連番で採番されます。
洗替区分	入(任意)	1: 洗替をする。 仕訳データを貸借反転して登録します。
< 元伝票検索情報 >		
元伝票日付	入(必須)	元伝票検索を行う時に、検索対象の伝票日付を入力します。
元伝票G	出力	元伝票の伝票Gを転記します。
元伝票番号	出力	元伝票の伝票番号を転記します。
元伝票検索	参照	「元伝票日付」を入力した後に「F4キー」を押すと、元伝票検索ウィンドウが表示されます。

伝票明細部

伝票明細部は、伝票毎に必要な設定になります。

伝票明細部は、「借方」、「貸方」共にあります。項目の並び順は貸借同じである為、項目説明は「借方」を元に記述します。

標準で提供しているExcelシートは、「機能コード」と「外貨」について非表示にしています。

「機能コード」及び「外貨」について仕訳を起票する際は、表示して御使用下さい。



下記のコード入力箇所に入力すると、右側にコード名称が表示されます。

借方										
科目CD	補助CD	部門CD	税CD	本体金額	税額	税込額	相手先区分	相手先CD	摘要1	摘要2

項目名	入/出	説明
科目CD	入(必須)	仕訳の勘定科目コードを入力して下さい。「F4キー」で参照ウィンドウが表示されます。
補助CD	入(任意)	科目コードの属性が、「補助あり」の場合は科目コードに紐付いた補助科目コードを入力して下さい。「F4キー」で参照ウィンドウが表示されます。尚、「補助なし」の場合は、科目コード入力時に、背景色が灰色になりますので入力不要です。
部門CD	入(必須)	科目コードに紐付いた部門コードを入力して下さい。「F4キー」で参照ウィンドウが表示されます。また、B/S科目コードに紐付いた部門設定を「パラメータマスタ」に登録すると該当の部門が初期表示されます。
税コード	入(必須)	税コードを入力して下さい。「F4キー」で参照ウィンドウが表示されます。尚、科目コードを入力した際には、科目コードに紐付いた税コードが表示されます。
本体金額	入(必須)	本体金額を入力して下さい。内税の場合は、税込金額を入力すると、本体金額を自動計算します。
税額	入(必須)	税額を入力して下さい。内税の場合は、本体金額入力時に税額を自動計算します。
税込額		税込額は、備考の項目として提供していますので、数式を入れる等、ご自由にお使い下さい。
相手先区分	入(任意)	科目コードの属性が、「取引先区分あり」の場合はコンボボックスから「得意先」・「仕入先」・「社員」を選択して下さい。尚、「取引先区分なし」の場合は、科目コード入力時に、背景色が灰色になりますので入力不要です。
相手先CD	入(任意)	科目コードの属性が、「取引先区分あり」の場合は相手先区分を選択した状態で、相手先コードを入力して下さい。「F4キー」で参照ウィンドウが表示されます。尚、「取引先区分なし」の場合は、科目コード入力時に、背景色が灰色になりますので入力不要です。
摘要1、摘要2	入(任意)	仕訳の摘要情報を入力して下さい。尚、以下の文字はSuperStreamで入力規制がある為、入力しても消されます。シングルクォーテーション(')、ダブルクォーテーション(")、カンマ(,)、改行コード(LF,CRLF)

- 3) 参照ウィンドウ説明
参照ウィンドウの構成は以下のようになっています。

コード検索参照ウィンドウ

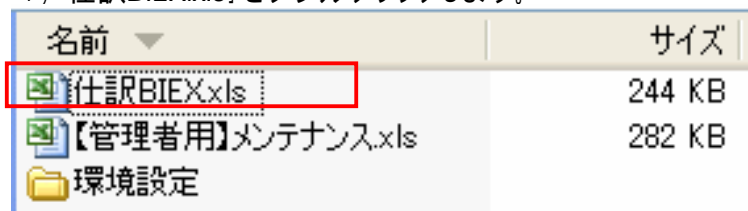
元伝票検索ウィンドウ

項目名	説明
検索条件	
コード	コード値で検索します。(部分一致)
名称	名称で検索します。(部分一致)
「検索」	検索条件で入力された情報を元に検索を行います
一覧リスト	コード値を昇順で表示します
「閉じる」	参照ウィンドウを閉じます
「OK」	選択された行の情報を、Excelシートに転記します

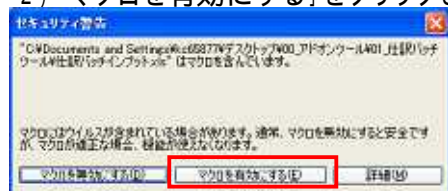
項目名	説明
絞込み条件	
元伝票日付	検索対象の元伝票日付をFromTOで入力します。 (入力必須) 初期値は、伝票ヘッダー部の「元伝票日付」です。
元伝票G	元伝票の伝票Gで絞込みを行う場合に入力します
元伝票番号	元伝票の伝票番号で絞込みを行う場合に入力します
入力ユーザID	元伝票の入力ユーザIDで絞込みを行う場合に入力します
「検索」	絞込み条件で入力された情報を元に検索を行います
一覧リスト	「システム区分」、「元伝票日付」、「元伝票G」、「元伝票番号」を昇順で表示します
「閉じる」	参照ウィンドウを閉じます
「伝票転記」	選択された行の情報を、Excelシートに転記します 伝票明細部に入力されている情報はクリアされます
処理経過	「伝票転記」を行っている処理の経過を表示します

2.1 ログイン方法

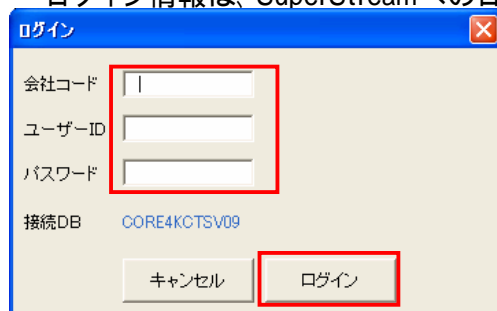
1) 「仕訳BIEX.xls」をダブルクリックします。



2) 「マクロを有効にする」をクリックします。



3) 「ログイン」画面が表示されますので、ログイン情報を入力し[ログイン]ボタンを押します。
ログイン情報は、SuperStreamへのログインと同一になります。



[キャンセル]ボタンを押すと、Excelブックは保存されず自動的に閉じます。

2.2 仕訳入力方法

ログイン後、仕訳入力シートの入力が可能になりますので、以下に必要情報を入力します。
入力方法の詳細は、「1.3 仕訳入力画面構成」の「2)各部の説明」を参照下さい。

 ...入力必須

 ...入力任意

バッチ実行日時	バッチNo	メニュー	伝票検索		入力操作		
ステータス			先頭行	最終行	▲	▼	伝票行新規作成

会計処理日 ? システム区分

< 伝票入力情報 >

伝票日付	伝票G	伝票区分	配賦区分	伝票ID	洗替区分
------	-----	------	------	------	------

< 元伝票検索情報 >

元伝票日付	元伝票G	元伝票番号	元伝票検索(F4)
-------	------	-------	-----------

借方									
科目CD	補助CD	部門CD	税CD	本体金額	税額	税込額	相手先区分	相手先CD	注
 	 	 	 	 	 	 	 	 	

科目属性によるので、科目が「設定必須」の場合は、入力必須になります。

【コード入力時のエラー表示】

入力したコード値が不正の場合、名称欄にエラーメッセージが表示されます。
そのままでは「バッチインプット」を実行した際に、エラーになりますので、適時修正してください。

エラーメッセージ	対処	対象項目
未登録 OR 期間対象外	マスタに登録されているコードで入力して下さい。	全て
科目コード未入力	科目コードを入力して下さい。	補助CD
科目コードなし	マスタに登録されている科目コードを入力して下さい。	税CD
非課税科目に課税コードが入力	非課税科目に課税の税コードは入力できません。	税CD
科目マスタと税コードがアンマッチ	対象外の税コードには、対象外以外入力できません。	税CD
売上対象外	売上の科目に仕入の税コードは入力できません。	税CD
仕入対象外	仕入の科目に売上の税コードは入力できません。	税CD
通貨コード未入力	通貨コードを入力して下さい。	レートタイプ
入力不可	対象科目では入力できません。	通貨CD
相手先区分未入力	相手先区分を選択して下さい。	相手先CD

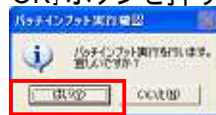
2.3 バッチインプット方法

仕訳入力シートに仕訳情報を入力した後、入力データを登録する方法を以下に記述します。

1) Excel上の「メニュー」ボタン 「バッチインプット実行」で実行画面を開きます。

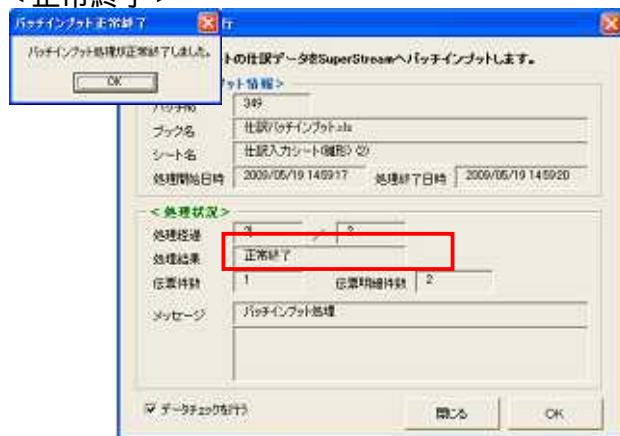


2) 「OK」ボタンを押すと以下の確認画面が表示され、「はい」を押すとバッチインプットが実行されます。

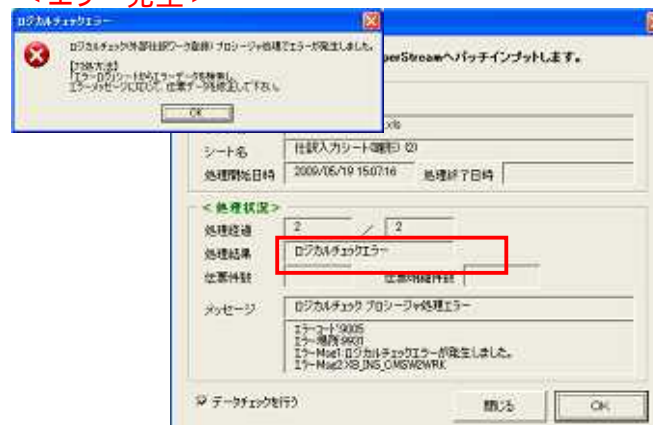


3) 処理が終了すると以下の画面が表示されます。

<正常終了>



<エラー発生>



ロジカルチェックエラーが発生した場合は、「2.4 エラーデータの検索方法」を参照下さい。

2.4 エラーデータの検索方法

バッチインプットのロジカルチェックエラーが発生した場合のエラーデータ検索方法

1) 「エラーログ」シートを選択して下さい。



2) 「エラーログ」シートの「検索ボタン」を押して、エラーの一覧を表示させます。
エラーデータ検索の対象は、ログインしたユーザが登録した伝票のみとなります。



3) エラーメッセージ一覧が表示されたら、該当のエラーメッセージをクリックすると、エラー該当箇所にジャンプします。

エラーログ検索 検索

バッチNo	エラーメッセージ	シート行No
354	仕訳金額が貸借不一致です。	8
354	補助科目が登録されています。指定の科目は補助科目登録不要です。	15
354	指定の部門コードが組織マスタに存在しません。	15
354	指定の部門コードが組織マスタに存在しません。	15
354	指定された取引先コードが仕入先マスタに登録されていません。	15
354	補助科目が登録されています。指定の科目は補助科目登録不要です。	16
354	指定の部門コードが組織マスタに存在しません。	16
354	補助科目が登録されています。指定の科目は補助科目登録不要です。	17
354	指定の部門コードが組織マスタに存在しません。	17

バッチ実行日時		2009/05/20 13:20:43	バッチNo		354
ステータス		ロジカルチェックエラー			
会計処理日	2009/05/19	システム区分	A1		
< 伝票入力情報 >					
伝票日付	2009/05/20	伝票G	A1	伝票区分	0
< 元伝票検索情報 >					
元伝票日付		元伝票G		元伝票番号	
元伝票検索(F4)					
借方					
科目CD	補助CD	部門CD	税CD	本	
15300 製品	1111 ***未登録 OR 期	02222 ***未登録 OR 期	000	対象外	
15300 製品	1111 ***未登録 OR 期	02222 ***未登録 OR 期	000	対象外	
15300 製品	1111 ***未登録 OR 期	02222 ***未登録 OR 期	000	対象外	

4) エラーメッセージに合わせて入力項目を修正してください。

2.5 バッチ入力データの取消方法

登録した仕訳データに不備があった時などに、登録した仕訳を取り消す方法を下記に記述します。

1) Excel仕訳の「メニュー」ボタン 「**インプットデータ削除**」で実行画面を開きます。



2) 対象の「バッチNo」を一覧から選択して「**取消実行**」ボタンを押します。

【留意事項】

1.取消単位は、「バッチNO」です。つまり1シートに記述している伝票全てになります。

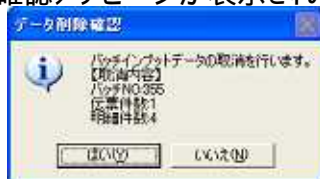
例) 1シート内に複数伝票記述している場合は、全ての伝票が取消対象となります。

2.取消対象は、ログインしたユーザが登録した伝票のみとなります。

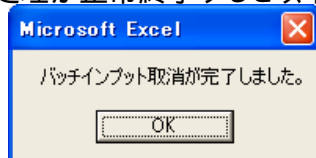
例) A氏が登録した伝票は、B氏で取消は出来ません。

B氏が取消を行う場合は、A氏で再ログインし直す必要があります。

3) 確認メッセージが表示されるので、メッセージ内容を確認後、「はい」を押す取消が実行されます。



4) 処理が正常終了すると以下のメッセージが表示され、一覧から取り消されます。



2.6 元伝票呼び出し方法

SuperStreamに取込まれている伝票を仕訳シートに転記する方法を下記に記述します。

- 1) Excel仕訳、伝票ヘッダー部の<元伝票検索情報>部分の「元伝票日付」に、検索対象の伝票日付を入力し「元伝票検索(F4)」の項目上で、「F4キー」を押します。

* <伝票入力情報>				
伝票日付	伝票G	伝票区分	配賦区分	伝票
* <元伝票検索情報>				
元伝票日付	元伝票G	元伝票番号	元伝票検索(F4)	
* 借方				
科目CD	補助CD	部門CD	税CD	本体金額

- 2) 元伝票検索ウィンドウが開きます。また、対象の伝票の範囲などの絞込みを行う場合には、絞込み条件を設定し、再検索を行って下さい。

- 3) 元伝票の転記を行う場合は、一覧から該当の伝票を選択し、「伝票転記」ボタンを押してください。

「伝票転記」を行うと、伝票明細部の入力されているデータはクリアされます。

* <元伝票検索情報>				
元伝票日付	元伝票G	元伝票番号	元伝票検索(F4)	
2009/04/10	A1	00000010		
* 借方				
科目CD	補助CD	部門CD	税CD	本体金額
30400	買掛金	00001 共通1	000 対象外	1.
30400	買掛金	00002 共通2	000 対象外	1.
30400	買掛金	A1 231 情報本社開発1	000 対象外	1.
30400	買掛金	A1 302 本社経理課	000 対象外	1.

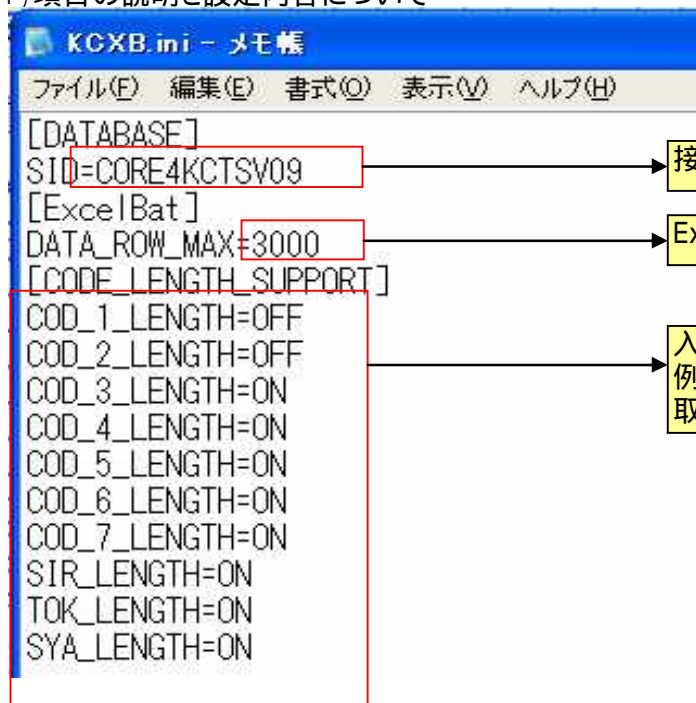
伝票の転記

3.1 設定ファイル内の変更方法

設定ファイルは、「仕訳BIEX.xls」と同じフォルダ【環境設定】「KCXB.ini」です。



1) 項目の説明と設定内容について



接続先のデータベースインスタンス名

Excel仕訳で処理する最大行数

入力シートのコード値入力時に、自動的に0埋めするかどうかのフラグ
例) ONの場合
取引先CDに'1'を入力 自動的に '0000001'

項目名	対象CD	設定値
COD_1_LENGTH	科目コード桁数	ON or OFF
COD_2_LENGTH	補助コード桁数	ON or OFF
COD_3_LENGTH	部門コード桁数	ON or OFF
COD_4_LENGTH	機能コード1桁数	ON or OFF
COD_5_LENGTH	機能コード2桁数	ON or OFF
COD_6_LENGTH	機能コード3桁数	ON or OFF
COD_7_LENGTH	機能コード4桁数	ON or OFF
SIR_LENGTH	仕入先コード桁数	ON or OFF
TOK_LENGTH	得意先コード桁数	ON or OFF
SYA_LENGTH	社員コード桁数	ON or OFF

2) 読込タイミング

設定ファイルを変更した後は、「仕訳BIEX.xls」を閉じて再度開きなおして下さい。
また、「メニュー」「再接続」でも再読込を行います。



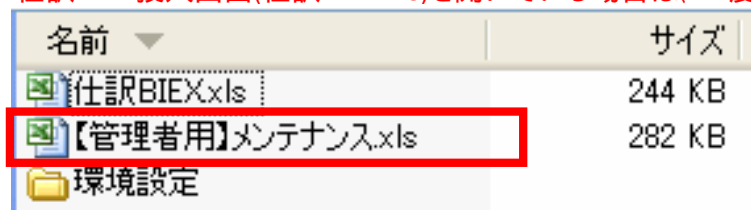
3.2 パラメータマスタの変更方法

仕訳入力シートのB/S科目コード入力時に、部門コードの初期表示を行いたい場合に『パラメータマスタ』をメンテナンスします。

1) [管理者]のみに提供する「[管理者用]メンテナンス.xls」をクリックします。

【注意事項】

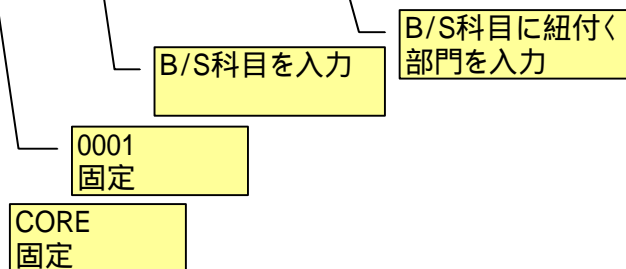
仕訳BIEX投入画面(仕訳BIEX.xls)を開いている場合は、一度閉じて作業を行って下さい。



2) ログイン画面が表示されますので、ログイン情報を入力して下さい。

3) ログイン後、「パラメータマスタ」のシート開き、一覧上にマスタのセットアップを行って下さい。

パラメータマスタメンテナンス							検索	更新	再接続	ログイン情報
パラメータID (必須)	パラメータ (必須)	パラメータ 設定値1 (必須) 参照可能	パラメータ 名称1	パラメータ 設定値2 (必須) 参照可能	パラメータ 名称2	備考	更新ユーザID	更新日		
CORE	0001	10180	現金	A1222	情報本社技術2	テスト用	TEST	2008/05/18 11:25:20		
CORE	0001	11600	郵便貯金	A1301	本社総務課	テスト用	TEST	2008/05/18 11:25:20		
CORE	0001	12100	定期預金	B1212	情報大阪営業2	テスト用	TEST	2008/05/18 11:25:20		
CORE	0001	12200	定期積立	C1232	情報米国開発2	テスト用	TEST	2008/05/18 11:25:20		
CORE	0001	12300	金銭信託	B1212	情報大阪営業2	テスト用	TEST	2008/05/18 11:25:20		
CORE	0001	28600	本支店勘定	C1212	情報米国営業2	テスト用	TEST	2008/05/18 11:25:20		



4) ボタン説明

- 検索** ... パラメータマスタを検索します。
- 更新** ... パラメータマスタを更新します。更新内容は一覧に表示している内容です。
- 再接続** ... 再接続します
- ログイン情報** ... ログイン情報を表示します。

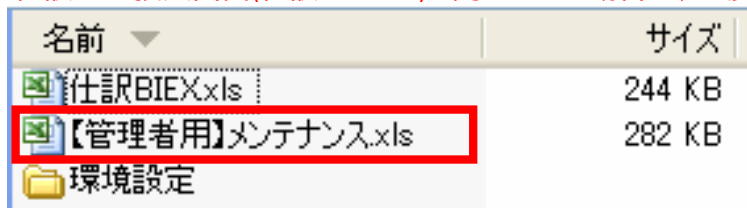
3.3 クライアントマスタの変更方法

仕訳投入を行うPC端末が変更された場合などに『クライアントマスタ』を変更します。

1) [管理者]のみに提供する「[管理者用]メンテナンス.xls」をクリックします。

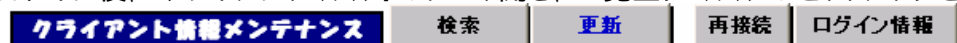
【注意事項】

仕訳BIEX投入画面(仕訳BIEX.xls)を開いている場合は、一度閉じて作業を行って下さい。



2) ログイン画面が表示されますので、ログイン情報を入力して下さい。

3) ログイン後、「クライアントマスタ」のシート開き、一覧上にマスタのセットアップを行って下さい。



クライアント情報メンテナンス	検索	更新	再接続	ログイン情報
MACアドレス (必須)	削除フラグ	ユーザ名	メモ	
00-11-2F-20-31-C7		TEST01	テスト01用MACアドレス	
00-1D-72-82-A5-7D		ARAFUKA	荒深端末MACアドレス	
00-1D-72-86-0C-9D		TANUMA	田沼端末MACアドレス	
00-1E-4F-55-49-FC		TEST03	テスト03用MACアドレス	
02-00-4C-4F-4F-50		ARAFUKA	荒深端末MACアドレス	
99-00-00-00-00-05	1	TEST05	テスト05用MACアドレス	
99-00-00-00-00-06	1	TEST06	テスト06用MACアドレス	

MACアドレス
を入力

削除フラグ
・設定なし 運用中
・1 削除済み

ユーザ名・メモを入力

MACアドレスは、
コマンドプロンプトのコマンド[ipconfig /all]で確認してください。

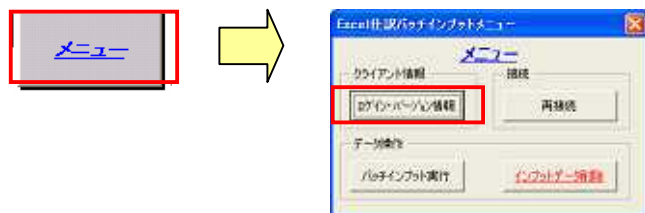


4) ボタン説明

- 検索** ... パラメータマスタを検索します。
- 更新** ... パラメータマスタを更新します。更新内容は一覧に表示している内容です。
- 再接続** ... 再接続します
- ログイン情報** ... ログイン情報を表示します。

4.1 ログイン・バージョンの確認方法

1) 仕訳BIEXの「メニュー」ボタン 「ログイン・バージョン情報」で画面を開きます。

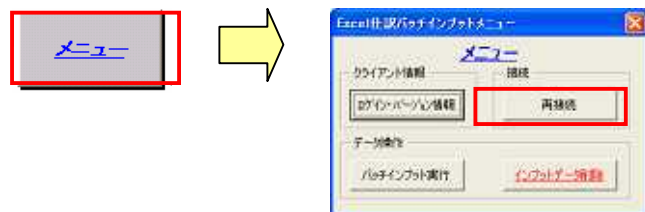


2) 各種情報が表示されます。



4.2 再接続について

シート編集中に何らかのエラーが発生し、セッションが切断されたり、「F4キー」が反応しなくなった場合や、設定ファイルを変更したときの即時読み込みを行いたい場合、「再接続」を行って下さい。



4.1 入力シートの制限事項

入力シートは、以下の制限があります。制限を無視して変更を行った場合、入力データが正しく登録されない等の弊害が発生しますので、絶対に行わないで下さい。

列の変更(追加 / 変更 / コピーなど)

A screenshot of a spreadsheet application's menu. The menu items include: 切り取り(C), コピー(C), 貼り付け(P), 形式を選択して貼り付..., 挿入(I), and 削除(D). A large red prohibition sign is overlaid on the menu, indicating that these actions are not allowed.

以下の項目文言の変更

バッチ実行日時 ...変更不可の文言

A screenshot of a data entry form. Red boxes highlight several fields: 'バッチ実行日時', 'バッチNo', 'ステータス', '会計処理日', 'システム区分', '伝票日付', '伝票G', '伝票区分', '配賦区分', '伝票ID', '洗替区分', '元伝票日付', '元伝票G', '元伝票番号', '元伝票検索(F4)', and 'END'. The form includes sections for '伝票入力情報', '元伝票検索情報', and a table for '借方' with columns for '科目CD', '補助CD', '部門CD', '税CD', '本体金額', '税額', '税込額', '相手先区分', and '相'.

仕訳入力画面構成の変更

例) シートヘッダー部と伝票ヘッダー部を入れ替える

A screenshot of a data entry form similar to the one above. A red prohibition sign is overlaid on the left side. Two black arrows point from the 'バッチ実行日時' field area towards the '伝票日付' field area, indicating an attempt to swap the positions of these header sections, which is prohibited.

例) バッチ確認部、シートヘッダー部の削除や位置変更

A screenshot of a spreadsheet application's menu, similar to the one in the first image. A large red prohibition sign is overlaid on the menu, indicating that actions like deleting or moving the batch confirmation section and sheet header section are not allowed.

6.1 エラーが起きた時の対処方法

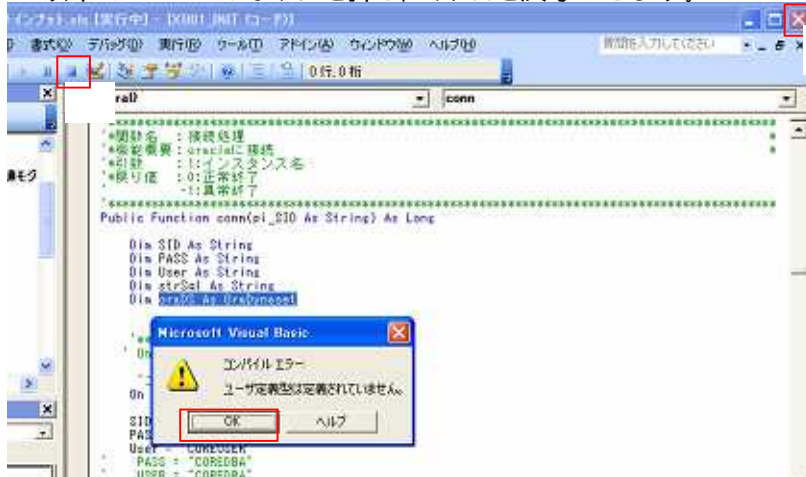
仕訳BIEX投入で何らかのエラーが起きた時の対処方法を以下に記述します。

1) Excelを開いた時

コンパイルエラーが発生した時

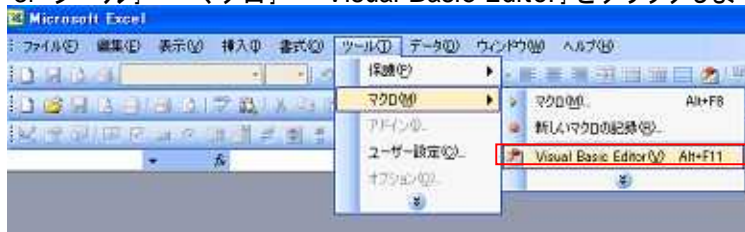
【対処方法】

1.以下の ~ のボタンを押し、マクロを終了させます。



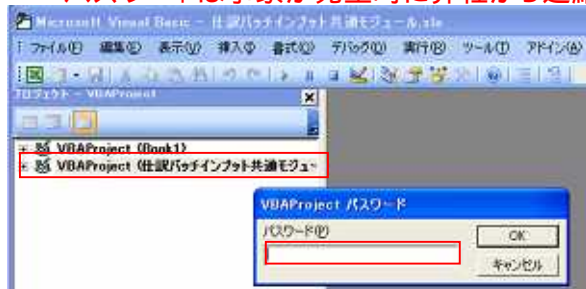
2.『環境設定』フォルダ内の「仕訳バッチインプット共通モジュール.xla」をクリックし、「マクロを有効にする」にします。

3.『ツール』 「マクロ」 「Visual Basic Editor」をクリックします。

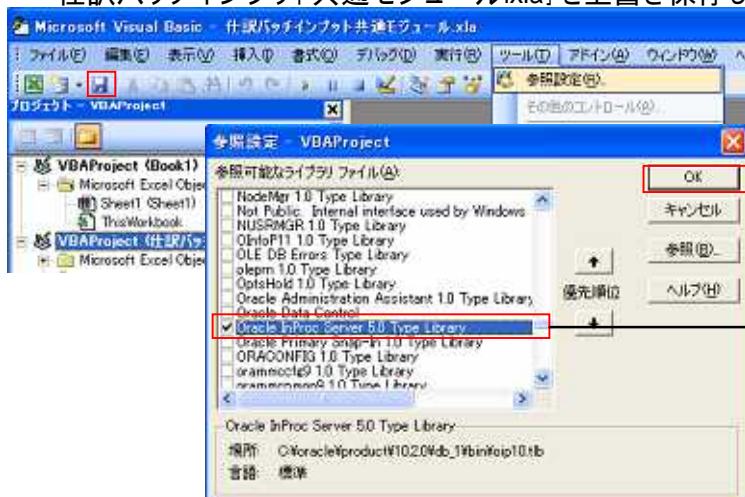


4.プロジェクトから(仕訳バッチインプット共通モジュール.xla)を選択しパスワードを入力します。

パスワードは事象が発生時に弊社から連絡します。



5.『ツール』 「参照設定」を開き、「Oracle InProc Server X.0 Type Library」にチェックし、「仕訳バッチインプット共通モジュール.xla」を上書き保存します。



Oracleクライアントによって名称が異なります。

9i 「Oracle InProc Server 4.0 Type Library」
10g 「Oracle InProc Server 5.0 Type Library」

6.再度、「仕訳BIEX.xls」を開き、エラーが回避された事を確認して下さい。

ファイル名を変更している場合は変更後名称ファイルを開いて下さい。

アドインファイル読みエラー

アドインファイルの読みエラーが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

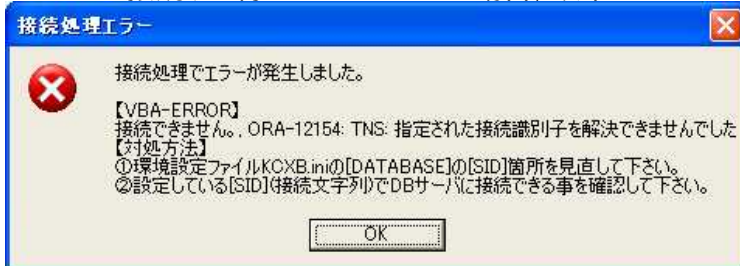


【対処方法】

「1.2 プログラム環境構成」を参照して正しい箇所にアドインファイルを配置してください。

接続エラー

サーバに接続する際にエラーとなった場合、以下のメッセージが表示されます。



【対処方法】

エラー内容にもよりますが、上記のメッセージの場合、環境設定ファイル(KCXB.ini)の[SID]で指定している接続文字列で、SQL *plusでログイン出来ることを確認して下さい。また、SuperStreamの[ClientMGR.exe]を実行し、接続先データベース名が同一であることを確認して下さい。

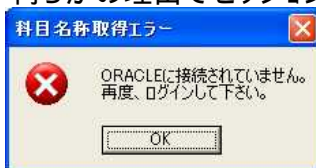
[ClientMGR.exe]



2) Excelで仕訳入力をしている最中

「接続されていません」エラーが発生する。

何らかの理由でセッションが切断された時に以下のメッセージが表示されます。



【対処方法】

EXCELブックを閉じて、再度開き直すか、「メニュー」の「再接続」で再ログインして下さい。